

## 指導方法等の改善計画について 三原市立沼田小学校

### 1 課題と取組について

本年度の結果について
<p>○取組の成果と課題                      昨年度の結果では、国語科では、「問題の目的や意図を明確に把握し、主体的に読んだり書いたりしていくこと」、算数科では、「複数の情報を正しく読み取り、相互に関連させながら正しい答えを選択すること」について課題があった。そこで、学校として全教職員で誤答分析を行うとともに、年度末までの学力改善計画を作成し、各学年で取組を行った。また、低学年から物語文・説明文の基本的な構造について、確実に読み取る力や文章(図・表・グラフ等を含む)の中から必要な情報を取り出し、考え整理し、論理的に短時間で説明する力を育む授業に取り組んだ。さらに、第5学年末に昨年度の全国学力・学習状況調査の問題を、今年度に入り、過去数年間の問題に取り組ませた。問題の意図は何か、情報の取り出し方と解答の仕方など、ポイントを絞って指導した。</p> <p>○本年度の調査から明らかになった課題                      本年度の国語科では、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う(42.9%)」「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く(57.1%)」、算数科では、「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる(28.6%)」が定着率が低かった。両教科とも、県平均を上回ることができたが、基礎基本問題、応用問題ともに継続して学力向上に努めていく。</p>

### 課題克服に向けた重点取組

<p>○全校での取組について                      標準学力調査の前年度比較+3点アップを目標に、当該学年の基礎基本の内容をすべての児童に身に付けさせることを目指す。(ぐんぐんタイム)</p> <p>○授業改善について                      国語科の授業で、叙述(情報)の中から必要な情報を取り出し、整理し、説明する(書く)活動を身に付けさせる。算数科の授業は、沼田小スタンダード・算数発表名人を活用する。「自力解決」「まとめ」において、書くことを習慣化させることで自分の思いや主張を表現したり、友達と練り合ったりする機会を設ける。</p>
--

### 2 本年度の結果(全国)

教科	国語	算数
目標値 (対県比%)	70 (105%)	70 (105%)
結果 (対県比%)	76 (115%)	73 (107%)

### 3 取組の計画

平成31年度 2学期
<p>【全校での取り組みについて】                      ・学力改善計画を活用し、月ごとの学力改善進捗状況を交流する。【月末の学力向上委員会にて、テストの平均点を交流し、つまづきを把握する。成果のあった取組を交流する。】                      ・昨年度の標準学力調査に全学年取り組み、通過率の低い問題を把握するとともに、対応した問題を解かせる。                      ・ぐんぐんタイム(ドリルタイム)の計画の見直しを行う。</p> <p>【授業改善について】                      ①9月の研究会の授業において、単元開発の視点から「めあての設定」「自力解決」「練り合い」「まとめ」「振り返り」の児童が主体的に学ぶ授業づくりを実施する。                      ②「自力解決」で自分の考えを、「まとめ」で“わがとも”としてまとめる習慣を全員につけさせる。                      ③2週間に1回、管理職による授業観察を実施する。                      ④これまでに行った研究授業・授業観察で出された課題について、次の授業観察までに1つ以上改善していく。                      ⑤日々の授業においても、「授業改善→授業改革」の視点で取り組む。</p>
平成31年度 3学期
<p>【全校での取り組みについて】                      ・学力改善計画を活用し、月ごとの学力改善進捗状況を交流する。【月末の学力向上委員会にて、テストの平均点を交流し、つまづきを把握する。成果のあった取組を交流する。】                      ・1月の標準学力調査結果をもとに、定着率の低かった問題の分析をし、対応した類似問題に取り組ませる。                      ・今年度の全国学力・学習状況調査を5年生対象に実施し、通過率の低い問題を把握するとともに、対応した類似問題に取り組ませる。                      ・ぐんぐんタイム(ドリルタイム)の計画の見直しを行う。</p> <p>【授業改善について】                      ①1月には、課題をもとに国語科の研究授業を行い、授業改善の進捗状況を確認する。                      ②「自力解決」で自分の考えを、「まとめ」で“わがとも”としてまとめる習慣を全員につけさせる。                      ③2週間に1回、管理職による授業観察を実施する。                      ④これまでに行った研究授業・授業観察で出された課題について、次の授業観察までに1つ以上改善していく。                      ⑤日々の授業においても、「授業改善→授業改革」の視点で取り組む。</p>

### 4 次年度の正答率(全国)

教科	国語	算数
目標値 (対県比%)	75 (105%)	75 (105%)
結果 (対県比%)		

### 5 取組の振り返り

○効果のあった取組
○改善していく取組